

令和3年度 英語教育充実プラン 高知市立第四 小学校		研究テーマ (英語教育推進方針)	英語を使って、自ら考え、伝え合うことができる児童の育成 ～児童が主体的にコミュニケーションを図る授業づくりを通して～			
年度当初の状況（4～5月調査を記載）		到達目標	年度末の到達目標達成状況（2月調査を記載）			
調査項目（意識調査の項目）			肯定的回答%	達成状況	考察	
児童	①英語の授業はよくわかる。	1 児童意識調査の肯定的回答の割合の向上 ・①を5%以上の向上を目指す。 ・②を3%以上の向上を目指す。 ・③を4%以上の向上を目指す。				
	②英語の授業で英語を使って発表することが楽しい。					
	③英語が好きだ。					
教員	④学習評価の在り方について理解できている。		2 教員意識調査の肯定的回答の割合の向上 ・④を5%以上の向上を目指す。 ・⑤を10%以上の向上を目指す。 ・⑥を4%以上の向上を目指す。			
	⑤「新教育課程を活かす 能力ベースの授業づくり」等を活用して、授業の工夫・改善を行うことができている。					
	⑥英語に対する苦手意識を感じていない。					
到達目標達成のための取組		取組計画		指標達成状況		
項目	成果指標	5～2月		達成状況	年度末評価	
英語教育の推進体制の整備	◆管理職のリーダーシップによる校内研修体制の確立 ◆学級担任の授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の授業力や英語力向上についての研修計画を立てる。</li> <li>・学校の実態を把握し、校内研修を計画的に実施する。</li> <li>・公開授業等を通して、研修の充実を図る。</li> <li>・授業前後にミーティングを担当、ALT、英語推進教員で行い授業改善を図る。</li> <li>・若年教員が授業を公開したり、他の教員の授業を参観したりすることができる機会を設ける。</li> </ul>				
英語教育の充実	◆「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標の設定、活用（設定・公表・把握 80%） ◆外国語活動・外国語科の年間指導計画及び年間カリキュラムの作成・運用及び見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標を設定し、「何ができるようになるか」を児童や保護者と共有するとともに、目標の達成状況を把握する。</li> <li>・小中の連携(中学校教員による小学校の授業参観及びTTによる授業乗り合わせ)</li> <li>・研修協力校での連携(公開授業や研修への相互参加など)</li> <li>・外国語活動・外国語の参観日を実施し、実際に授業を見てもらうことで保護者や地域の方への理解を図る。</li> <li>・年間カリキュラムの作成・運用及び見直し</li> </ul>				
英語教育の指導方法及び学習評価の工夫改善	◆教員意識調査 ⑤肯定群 60%以上 ◆児童意識調査 ③肯定群 85%以上 ◆GTECの実施・活用 (結果の分析・把握・研究の妥当性の検討) 読む(R2)69→(R3)72 話す(R2)76→(R3)80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で推進教員を中心とした全校研や校内研修を実施し、学校全体として授業改善を進める。</li> <li>・講師招聘のもと、英語教育の指導方法及び学習評価についての研修会を実施する。</li> <li>・「Kochi 使える広がる Fun!Fun!えいご」等を授業で活用し、児童の英語力向上を目指す。</li> <li>・児童が英語を使う必然性のある場面設定をし、進んでコミュニケーション活動が行えるように単元ゴールの設定を見直す。(場面設定をはっきりさせることで、児童が学習の成果を実感できるようにする。)</li> <li>・児童一人一人の学習状況の把握に努め、児童の意欲を高める学習評価の在り方について研究する。(評価におけるパフォーマンステストの研究など)</li> <li>・先進校などへの公開授業や研修への参加</li> </ul>				